

公 募 説 明 書

下記に記載する内容及び条件において、当該業務等が実施可能であり、かつ、入札または企画競争を実施した場合、参加意思を有する者の有無を調査するため参加者確認公募に付す。

記

1. 参加者確認公募に付する事項

- (1) 公 募 件 名：「呼吸保護具の点検業務」
- (2) 趣旨及び概要：仕様書による。
- (3) 数 量：一式
- (4) 納 期：2027年 2月26日
- (5) 納 入 場 所：青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字野附504-36
公益財団法人核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター内指定場所

2. 必要書類等の提出場所等

- (1) 契約事項を示す場所及び提出場所等
郵便番号：110-0015
所在地：東京都台東区東上野一丁目28番9号 キクヤビル3階
機 関 名：公益財団法人核物質管理センター
担 当 部 署：総務部 契約課
フリガナ：イイズミ ジュンコ
担 当 者 名：飯泉 順子
電 話 番 号：03-5816-7765
F A X：03-3834-5265
M a i l：keiyaku-info@jnmcc.or.jp
- (2) 参加意志確認書の提出期限
2026年 6月 3日(水) 午後4時まで
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 総務部 契約課 必着(電子メール可)
なお、参加意思確認書を郵送する場合、書留郵便若しくは配達記録が残るようにすること。
- (3) 提出書類(電子メール可)
 - ・資格審査結果通知書(全省庁統一資格)等の写し(「3.(2)」参照) 1部
 - ・資格要件確認書に記載する資料 1部

3. 参加者確認公募に参加する者に必要な資格

- (1) 次の①～⑤に該当する者は公募に参加することができない。
 - ①成年被後見人
 - ②未成年者、被保佐人及び被補助人(契約締結のための必要な同意を得ている場合は除く。)
 - ③破産者で復権を得ない者
 - ④競争に参加することを妨げ、又は契約の締結もしくは履行を妨げ、公序良俗に違反した者であって、その事実があった後2年を経過しない者(代理人、支配人、その他のとして使用する者についても、同様とする。)
 - ⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団又は同法第2条第6号に規定する暴力団員もしくはこれらと関係する者
- (2) 2026年度 国・地方公共団体等における競争参加資格(東北、関東・甲信越)の「役務の提供等」の資格を有すると認められた者

4. 参加意思確認公募の手続き

参加意思確認書を提出した者に対して審査を行い、審査結果を通知する。
審査の結果、公募要件を満たす者が2者以上いる場合は、指名競争入札、複数者による見積合わせ又は企画競争を行う。
応募者がいない場合は、特定の者と随意契約の手続きを行う。

2026年 5月15日

公益財団法人核物質管理センター
総務部長 猪 狩 和

提出方法 (いずれか)	⇒ 電子メール、郵送、持参
押印の省略	⇒ 可

公益財団法人核物質管理センター
総務部長 猪狩 和 殿

住 所
商号又は名称
代 表 者 名

参加意思確認書

2026年5月15日付で公示の下記の業務等について参加意思がありますので、参加意思確認書を提出します。

なお、本確認書に記載されている内容及び添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

1. 業務等の名称 「呼吸保護具の点検業務」
2. 添付資料 (公募説明書において提出を求めた書類)
 - (1) 国・地方公共団体等における競争参加資格(東北、関東・甲信越)を証する書類
 - (2) 本業務等の遂行に必要な資格及び実績を証する書類
 - (3) その他必要な書類

所 属
役 職 名
氏 名
電 話 番 号
F A X 番 号
電 子 メール

「公募説明書」記載の通り、6月3日
までに契約課まで提出下さい。

資格要件確認書

回答期限	2026年6月19日（六ヶ所センター必着）					
契約番号	312-015	請求元課室	安全管理課			
契約件名	呼吸保護具の点検業務	区分	□A・■B			
参加候補者		評価結果	□合格、□不合格 (下記の通り)			
評価項目	確認項目	証明資料	RSC 記入欄			
			判定	判定理由	判定者	
1 業務の実施・管理体制等 ※購買品区分A・Bは必須（共通項目）	1.1 業務の実施体制	① 業務の実施に十分な人員数及びスキル（業務遂行に必要な有資格等）が確保されていること。	契約案件の関連部署の人数が確認できる実施体制図	□良 □否	請求元課室長	
		② 必要な業務分担（設計開発、製造、調達、試験、検査、保守、設置工事、品質保証等）及び管理体制（品質、作業管理者等を含む）がとられていること。	①実施体制図（契約案件の関連部署のみ） ②受注者のISO9001 認証書（付属書含む）及び品質保証計画書など	□良 □否		
	1.2 品質管理及び情報セキュリティ体制	① 受注する製品及びサービスを要求項目に沿って提供できる品質管理システム(設計・開発・調達を含む)が確立していること。	①受注者（下請け業者を含む）のISO9001 認証書（付属書含む）又は品質保証計画書など ②調達がある場合は、ベンダーリスト、サプライチェーン説明書等	□良 □否	請求元課室長	
	1.3※ 入札資格	① 国（独法を含む）または地方自治体の入札参加資格を有すること。	(例) 省庁統一資格	※契約担当部署にて対応		
	1.4 コンプライアンス	① コンプライアンス違反の有無（有の場合はどのように改善したか。）	□無・□有（改善内容を別添）	□良 □否	請求元課室長	
② 不適合事象の有無（有の場合はどのように改善したか。）		□無・□有（改善内容を別添）	□良 □否			
1.5 安全文化の育成	原子力安全を第1に考え、安全文化の育成・維持に努めていること。	(例) 安全文化育成の教育・訓練実績表	□良 □否	請求元課室長		

2 技術確認事項 ※仕様書の要求事項に応じ技術的な確認事項を定めること。本シートは、その例を示す	2.1 技術能力の確認					
	2.2 技術設備の確認	空気呼吸器用シリンダの空気充填が可能な事業所であること。	高圧ガス製造許可証等	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 否		請求元課室長
	2.3 設計開発の確認					
	2.4 物品の実績の確認					
	2.5 その他の確認	供給者の品質管理システムについて品質監査できること。	品質監査受検実績表（指摘や気付事項有無の明記及び指摘や気付事項がある場合は、取り組み内容や進捗が確認できるもの）	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 否		請求元課室長
注) 参加候補者は、各確認事項を証する資料名を「証明資料」欄に記載し当該資料を添付のうえ契約担当者へ提出すること。						

提出方法 (いずれか) ⇒ 電子メール、郵送、持参
押印の省略 ⇒ 可

資格要件確認書

契約番号: XXX-XXX
 契約件名: XXXXXXXXXXXXXXXX
 社名: ●●●●株式会社

社名を記入してください。
 ※社印は不要です。

請求元課
 購買区
 評価の有無

提出する資料名を記入してください。

評価項目	仕様書 ページ	確認項目	証明資料	センター記入欄		
				判定	判定理由	判定者
1 業務の実行 管理体制等	体制	数人のスキル(業務遂行に必要有資格等)が確保されて	●●資格証(写)		「センター記入欄」には何も記入しないでください。	
※タイトル行(太線内)は変更しないでください。						
本書は、案件ごとに記入してください。 記入後の本書と証明資料は、入札仕様書等の書類と合わせて、入札仕様書等の提出期限までにメールまたはFAXにて提出してください。						
		QMS体制図				
		② 情報セキュリティに対する管理体制がと。	情報セキュリティ体制			
2 技術確認事項	2.1 技術能力の確認	P.1 2(3) ① ○○の資格を有する作業員を配置できること。	●●資格証(写) □□証明書			
	2.2 技術設備の確認		一覧			
	2.3 物品性能の確認	P.3 4(1) の性能要件を満たしていること。	製品のスぺックがわかる資料(カタログ等)			
	2.4 物品の実績の確認	P.4 5(1) ① 過去5年間で、当該製品は、(耐震設計基準●クラス)で納入実績を示すこと。	納品実績表			

複数例示された資料から選択する場合は提出する資料名を○で囲んでください。

例示された資料と提出資料が異なる場合は実際の資料名に訂正してください。

呼吸保護具の点検業務
仕様書

2026 年度

公益財団法人核物質管理センター

目次

1. 件名	1
2. 目的	1
3. 契約範囲及び業務内容	1
4. 納期	2
5. 点検実施場所	2
6. 支給品及び貸与品	2
7. 提出書類	3
8. 検収条件	3
9. 契約不適合責任	3
10. 適用法規・規定等	4
11. 特記事項	4
別添 打刻ラベルの仕様	6
別表 点検対象機器及び点検内容等一覧	7

1. 件名

呼吸保護具の点検業務

2. 目的

本仕様書は、公益財団法人核物質管理センター（以下、「センター」という。）六ヶ所保障措置センター（以下、「六ヶ所センター」という。）が所有する呼吸保護具の点検業務に係る仕様について定めたものである。

3. 契約範囲及び業務内容

(1) 契約範囲

- 1) 打刻ラベルの作成及び貼付
- 2) 呼吸保護具の点検
- 3) 消耗部品の交換
- 4) 提出書類の作成

(2) 業務内容

1) 打刻ラベルの作成及び貼付

① 打刻ラベルの作成

受注者は、別添「打刻ラベルの仕様」に示した打刻ラベルを20枚作成すること。

② 打刻ラベルの貼付

受注者は、前項で作成した打刻ラベルを、3.(2)2)を実施する際に空気呼吸器用シリンダ（重松製作所730ⅢG型：20本）に貼付すること。

2) 呼吸保護具の点検

受注者は、別表「点検対象機器及び点検内容等一覧」に示す台数の呼吸保護具について「点検内容」に示す点検を実施すること。点検は5.に示す場所で行われ、作業日は六ヶ所センター安全管理課と調整の上、決定すること。点検時に24MPa未満の空気呼吸器用シリンダが確認された場合、六ヶ所センター安全管理課と協議の上、対応すること。また、点検後に呼吸保護具へ点検年月日が記載されたシールを貼付すること。なお、点検で使用する計測機器は、国家標準又は国際標準にトレーサビリティを有するものとし、受注者が準備すること。

3) 消耗部品の交換

- ① 受注者は、空気呼吸器（株式会社重松製作所製：型式A1-12）のそく止弁のOリングを調達し、20台交換すること。
- ② 受注者は、3.(2)2)に示す点検を実施し、点検の結果判定が否となった場合、六ヶ所センター安全管理課が支給する新品部品へ交換すること。

4) 提出書類の作成

受注者は、7. に示す書類を作成し、六ヶ所センター安全管理課へ提出すること。

4. 納期

2027年2月26日

5. 点検実施場所

(1) 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字野附 504 番地 36

六ヶ所センター内指定場所

(2) 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字沖付 4 番地 108

日本原燃株式会社再処理事業所内

六ヶ所保障措置分析所（以下、「OSL」という。）指定場所（管理区域）及び
出入管理建屋指定場所（非管理区域）

6. 支給品及び貸与品

(1) 支給品

1) 呼吸保護具の消耗部品

① 数量 : 必要数

② 支給場所 : 5. (2) に示す場所

③ 支給時期 : 作業期間中

④ 支給方法 : 直接渡し

2) その他、相互の協議により決定したもの。

(2) 貸与品

1) 身体防護具（管理区域内作業服類、半面マスク等）

① 数量 : 必要数

② 引渡場所 : 5. (2) に示す場所

③ 引渡時期 : 作業期間中

④ 引渡方法 : 直接渡し

⑤ 返却時期 : 作業終了後速やかに

⑥ 返却方法 : 直接渡し

7. 提出書類

受注者は、以下の書類を提出時期までに六ヶ所センター安全管理課に提出すること。なお、承認返却が必要な書類については、受注者が準備すること。

No.	書類名	提出時期	部数
1	品質保証計画書	契約後速やかに	1部
2	工程表 ^{*1}	作業開始2週間前までに	1部
3	点検要領書 ^{*2}	作業開始2週間前までに	1部
4	計測機器の証明書写し ^{*3}	作業開始2週間前までに	1部
5	点検報告書 ^{*4}	作業終了後速やかに	1部
6	打合せ議事録 ^{*5}	打合せ終了後速やかに	1部

*1 工程表は、六ヶ所センター安全管理課と点検日を調整した上で作成すること。

*2 点検要領書には、別表「点検対象機器及び点検内容等一覧」に示す点検対象機器の点検項目、点検内容を記載すること。また、点検手順及び判定基準を明確に記載すること。

*3 計測機器の証明書写しは、以下の条件を満足すること。

(1) 校正証明書

(2) トレーサビリティ体系図

ただし、JCSS、A2LA、DAkkSなどの認定事業者が校正した場合、自社校正した場合又は標準物質である証明書（CRM Certificate等）を提出する場合は、トレーサビリティ体系図の提出を不要とする。

*4 点検報告書には、点検結果及び点検結果の所見を記載すること。また、点検報告書に記載する内容の詳細は、六ヶ所センター安全管理課と調整すること。

*5 打合せ議事録については、打合せを行った場合、その都度提出すること。なお、打合せを行わなかった場合は提出不要とする。

8. 検収条件

3.に示す業務が実施され、7.に示す提出書類が提出されたことをもって検収とする。

9. 契約不適合責任

(1) 受注者は、当該業務について仕様書及び契約内容等との不一致（以下、「契約不適合」という。）が発見されたときは、センターの当該契約不適合にかかる請求に基づき、受注者の負担においてセンターが定めた期限までに、業務の再履行その他必要な措置を執らなければならない。

- (2) (1)の請求は、センターが当該契約不適合を知った時から1年以内に不適合の内容を受注者に通知する。ただし、当該契約不適合を知った時から5年を経過した場合もしくは検収後10年を超えて発見された契約不適合は除く。

10. 適用法規・規定等

- (1) 日本産業規格
- (2) 六ヶ所保障措置センター核燃料物質使用施設保安規定
- (3) 放射線管理仕様書
- (4) 高圧ガス保安法

11. 特記事項

- (1) 受注者は、本仕様書に記載されている物品について、法令等に基づく届出等の必要がある場合や、届出等が必要になる可能性がある場合は、その内容及び方法について情報を提供すること。
- (2) 受注者は、管理区域作業を行うにあたり、放射線管理仕様書に記載する書類について六ヶ所センターと調整の上、提出すること。
- (3) 受注者は、管理区域内作業を行う者について、作業開始までにOSLの放射線業務従事者の指定を受けていること。
- (4) 受注者は、管理区域内作業を行う者について、作業開始までにOSL及び日本原燃株式会社再処理施設の入域手続きを完了させること。
- (5) 受注者は、管理区域立入りに際しては、六ヶ所センターが行う保安のための指示に従うこと。
- (6) 受注者は、六ヶ所センターが作成する作業計画書の作成に必要な情報を提供すること。
- (7) 管理区域内での作業は原則、放射線作業として実施し、作業における放射線管理及び被ばく管理は受注者が行う。

- (8) 受注者は、必要に応じ、六ヶ所センターが実施する品質監査（技術的能力、品質マネジメント体制等に関すること）を受けること。
- (9) 受注者は、作業の実施において既設設備を破損させた場合、直ちに六ヶ所センターに報告するとともに、速やかに修理又は同等品との交換を無償で行うこと。
- (10) 受注者は、本作業の実施により取得した各種データ、点検結果を点検報告書に記載すること。
- (11) 受注者は、本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載なき事項について疑義が生じた場合は、センターと協議の上、その決定に従うこと。
- (12) 化学物質および人工物質を使用した作業については、SDS 等から内容物を確認し、健康障害防止対策及びリスクアセスメントを行い、SDS とともに六ヶ所センターに提出し、承認を得ること。
- (13) 受注者は、本業務により OSL 及び六ヶ所センター内での業務及び作業において使用する工具、機器等は、耐用年数を経過していないこと及び取扱説明書以外の使用をしないことを確認し、その結果を文書で六ヶ所センターへ報告すること。特殊な使い方や治具を利用する場合は、六ヶ所センターに説明し承認を得ること。
- (14) 受注者は、当該契約の成果物の維持又は運用に必要な技術情報（契約に資した資機材の不適合事例等及び類似作業に関連したもの）がある場合は、所見等に記載し、六ヶ所センターへ提供すること。

以 上

別添 打刻ラベルの仕様

(1) 打刻ラベルの仕様

- ① 外寸：約 25mm×約 45mm
- ② 材質：軟質アルミ 50S MP1 80H
- ③ 付属品：保護用ラベル

(2) 記載内容（イメージ図）

公益財団法人
核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字野附 504-36
電話番号：0175-71-0460

別表 点検対象機器及び点検内容等一覧 (1/3)

点検対象機器	製造者	型式	台数	点検項目	点検内容
空気呼吸器	株式会社 重松製作所	A1 型	20	外観点検	<p>【アイピース】 目視にてアイピース表面を確認する。</p> <p>【面体ゴム本体】 目視にて面体ゴムの状態を確認する。</p> <p>【吸気弁】 目視にて吸気弁の表面及び取り付け部を確認する。</p> <p>【排気弁】 目視にて排気弁の表面及び取り付け部を確認する。</p> <p>【ヘッドハーネス】 目視にてヘッドハーネスの状態を確認する。</p> <p>【中圧ホース】 目視にて中圧ホースの表面を確認する。</p> <p>【その他構成部品】 目視にてその他構成部品が正常に取付けられていること、破損がないことを確認する。</p> <p>【ボンベ本体】 目視にてボンベ本体の状態を確認する。</p> <p>【ボンベの使用期限の確認】 容器表面に記載している初回耐圧検査年月を確認し、高圧ガス保安法に準じ、初回耐圧検査年月から15年を経過していないことを確認する。</p> <p>【ボンベの耐圧検査】 再耐圧検査済みシール等にて、高圧ガス保安法に準じた再耐圧検査が実施されていること、及び再耐圧検査年月を確認する。</p> <p>【ボンベの充填圧力の確認】 ボンベの圧力ゲージから充填圧力を目視にて確認し、24MPa以上であることを確認する。</p> <p>【ボンベ減圧弁との接触の確認】 ボンベのそく止弁に呼吸器本体の減圧弁を取付けて、ネジに緩みがないことを確認する。</p> <p>【ラベルの確認】 所有者情報が記載されたラベルがボンベに貼られていること。</p>

別表 点検対象機器及び点検内容等一覧 (2/3)

点検対象機器	製造者	型式	台数	点検項目	点検内容
空気呼吸器	株式会社 重松製作所	A1 型	20	部品交換	<p>【ポンベそく止弁の0リング交換】 ポンベそく止弁の0リングを交換すること。</p> <p>【ポンベそく止弁の確認】 そく止弁のバルブを手で回し、空気が放出することを確認する。</p> <p>【バイパス弁の確認】 ポンベのそく止弁を開放して、プレッシャダイヤモンド弁のバイパス弁を開いて空気が放出することを確認する。</p> <p>【警報器の確認】 そく止弁を閉じて、バイパス弁をゆっくり開けて、呼吸器本体に付属する圧力指示計の指示値を確認し、JIST8155:2014に準じ、設定値(3MPa)に対して100%(3MPa)以上かつ150%(4.5MPa)以下で警報が吹鳴することを確認する。</p> <p>【圧力指示計の確認】 呼吸器の動作確認後、圧力指示計の指針がスムーズに動くことを確認し、指示値が0MPaになることを確認する。</p> <p>【プレッシャダイヤモンド弁の陽圧設定値確認】 空気呼吸器の面体を試験用人頭に装着し、そく止弁を開き、陽圧にした時のマンメータの指示値を確認し、JIST8155:2014に準じ、指示値が0.1~0.6kPa以内であることを確認する。</p> <p>【プレッシャダイヤモンド弁の陽圧流量確認】 陽圧流量点検パイプを試験用人頭と面体の間に差し込み、そく止弁を開き、陽圧にした時のマンメータの指示値が降下した値を確認する。</p> <p>【プレッシャダイヤモンド弁と面体との接触】 面体とプレッシャダイヤモンド弁のたたつき及びびりくがないことを確認する。</p> <p>【低圧部の気密確認】 テストターを試験用人頭に装着した状態で、そく止弁を開かず、30秒間で1kPaまで指示値が降下しないことを確認する。</p> <p>【中圧部の気密確認】 そく止弁を開き、圧力の上昇を確認後、そく止弁を閉じ、圧力計の指示値が降下した値を確認し、JIST8155:2014に準じ、指示値の降下した値が1分間に1MPa以内であることを確認する。</p> <p>【高圧部の気密確認】 そく止弁を開き、圧力の上昇を確認後、そく止弁を閉じ、圧力計の指示値が降下した値を確認し、JIST8155:2014に準じ、指示値の降下した値が1分間に1MPa以内であることを確認する。</p>
				動作確認	

別表 点検対象機器及び点検内容等一覧 (3/3)

点検対象機器	製造者	型式	台数	点検項目	点検内容
半面マスク	株式会社 重松製作所	GM83SF	165	外観点検	【面体ゴムの外観確認】 面体ゴムの形状を目視にて確認する。必要に応じて引っぱり、ゴム表面を目視にて確認する。
		TW08SF	11		【型式検定合格標準章の確認】 面体前面に型式検定合格標準章が貼付けられているか確認する。 【吸気弁の外観確認】 吸気弁の表面に破損等がなく、取付け部に正常に取り付けられていることを目視にて確認する。 【排気弁座の外観確認】 排気弁座に変形、亀裂、脱落、汚れ、埃等が付着していないか目視にて確認する。 【排気弁の外観確認】 排気弁の表面に破損等がなく、取付け部に正常に取り付けられていることを目視にて確認する。 【しめひもを外観確認】 しめひもを引っぱり、表面を目視にて確認する。
全面マスク	株式会社 重松製作所	TW099	36	外観点検	【アイピース】 目視にてアイピース表面を確認する。 【面体ゴムの外観確認】 面体ゴムの形状を目視にて確認する。必要に応じて引っぱり、ゴム表面を目視にて確認する。 【型式検定合格標準章の確認】 面体前面に型式検定合格標準章が貼付けられているか確認する。 【吸気弁の外観確認】 吸気弁の表面に破損等がなく、取付け部に正常に取り付けられていることを目視にて確認する。 【排気弁座の外観確認】 排気弁座に変形、亀裂、脱落、汚れ、埃等が付着していないか目視にて確認する。 【排気弁の外観確認】 排気弁の表面に破損等がなく、取付け部に正常に取り付けられていることを目視にて確認する。 【しめひもを外観確認】 しめひもを引っぱり、表面を目視にて確認する。